

羽黒町の紹介

	はぐろまち 羽黒町	〒997-0192 東田川郡羽黒町大字荒川字前田元89番地			TEL 0235 (62) 2111		FAX 0235 (62) 3755			
	地名 由来	古来からの修験道の霊地「羽黒山」にちなむ。					町の木、花、鳥、動物 杉 ミズバショウ キジ 牛			
	類型	- 1	地域指定等	特豪 辺地 農工 拠点都市						
地勢	東西10.3km、南北25kmの細長い地形であり、標高1984mの月山を頂点に、山岳部、平野部と続き、東に京田川、中央部に、今野川、藤島川、黒瀬川、西に赤川が流れている。気候は、海洋性気候の特性をもち、多雨多湿の傾向が著しい。									
沿革	昭和30年 2月1日 羽黒町設置(手向村、泉村、広瀬村合体)									
区分	人口(人)	世帯数(世帯)	高齢化率(%)	総面積	林野面積割合	可住地面積割合	D I D s 人口(平成12年国調)			
昭和40年国調	12,096	2,287	7.4	109.61km ² (県内35位)	42.6%	53.4%	- 人 (県内-位)			
昭和50年国調	10,593	2,206	11.1	昼夜間人口比(平成12年国調)	90.3% (県内19位)	人口密度(平成12年国調)	87.7 人/km ² (県内25位)			
昭和60年国調	10,443	2,172	14.8	産業別就業人口(平成12年国調)		住民基本台帳人口(平成14年3月末)	有権者数 (平成14年6月2日)			
平成2年国調	10,298	2,165	18.2	第一次産業	1,193 人	23.3%	男	4,669 人	男	3,649 人
平成7年国調	9,988	2,181	22.3	第二次産業	1,739	34.0	女	5,077	女	4,072
平成12年国調	9,616	2,209	26.4	第三次産業	2,187	42.7	計	9,746	計	7,721
同上県内順位	28位	31位	24位	計	5,120	100.0	出生率(平成13年)		8.8‰ (県内14位)	
農業粗生産額(平成12年)	514千円 (県内18位)		製造品出荷額等(平成13年)		1,156 千円 (県内26位)		年間商品販売額(平成11年)		421 千円 (県内38位)	
三役	町長 中村 博信 (任期 平成15年 4月 24日 2期目)				議 会	議長 今井 勇雄		党派別議員数(平成14年6月1日)		
	助役 成沢 一彦 (任期 平成16年 1月 30日 2期目)					副議長 富樫 孝一		無所属 18		
	収入役 渡部 志郎 (任期 平成16年 10月 31日 2期目)					議員定数 18人 (法定定数 22人)		議員任期 平成15年7月31日		
行政組織機構	町長 ——— 助役 ——— 総務課・企画商工課・税務住民課・保健福祉課・建設課・農林課・観光課							職員数 (平成14年4月1日)		
	収入役 ——— 収入役室							一般行政	99 人	
	水道室							特別行政	28	
	議会 ——— 事務局 農業委員会 ——— 事務局 公平委員会(委託)							公営企業等	10	
	教育委員会 ——— 事務局 選挙管理委員会 ——— 事務局 固定資産評価審査委員会							病院	-	
							水道	2		
							その他	8		
							合計	137		
一部事務組合加入状況	山形県消防補償等組合(44市町村) 山形県自治会館管理組合(44市町村) 山形県市町村職員退職手当組合(9市31町村) 鶴岡市ほか六箇所衛生処理組合(1市6町村) 山形県市町村交通災害共済組合(2市26町村) 東田川郡町村組合(7町村) 庄内広域行政組合(2市12町村) 鶴岡地区消防事務組合(1市6町村)									
協議会加入状況	庄内地区視聴覚教育協議会(2市12町村)									
財産区	—————									
公社及び主要第三セクター	羽黒町土地開発公社 (社)月山畜産振興公社 株式会社ゆぽか									

羽黒町の紹介

基本構想		第一次羽黒町総合開発計画 平成6年3月15日議決 計画期間 H6～15年度				基本計画		第一次羽黒町総合開発計画 平成6年3月15日 計画期間 H6～15年度			
行政方針等	「歴史と文化を誇る三がいのまち羽黒」、キャッチフレーズに「生きがい、働きがい、暮らしがい」、スローガンを「創ろう活きのいいまち羽黒」としてまちづくりを展開している。 (基本目標)					重点事業	1、総合計画策定事業に着手 8、桜つつみモデル事業 2、緊急地域雇用特別基金事業 9、松ヶ丘開墾保存修復事業 3、住民基本台帳ネットワークシステム導入事業 10、国宝羽黒山五重塔 4、地籍調査過年度数値情報化事業 保存修理事業 5、学童保育事業 6、おうとう施設園芸生産基盤整備事業 7、羽黒南部住環境整備事業				
	出羽庄内羽黒の風土を愛する「快適な環境のまち」 明日へのパワーとメッセージを発進する「活力と創造のまち」 1人ひとりの個性が光る「教育と文化のまち」 瞳輝き、ぬくもりの伝わる「健康と福祉のまち」										
	都市宣言等 羽黒町交通安全町宣言 非核平和の町宣言 敬老自治体宣言 米輸入自由化反対町宣言										
	特色ある条例										
姉妹・友好都市		新島村(東京都)									
普通会計決算状況 (百万) (%)	区分	歳入		地方税		地方譲与税	地方交付税	国支出金	県支出金	地方債	その他
	11年度	6,282 (100.0)		662 (10.5)		77 (1.2)	2,907 (46.3)	459 (7.3)	790 (12.6)	529 (8.4)	858 (13.7)
	12年度	5,604 (100.0)		636 (11.3)		78 (1.4)	2,871 (51.2)	288 (5.1)	372 (6.6)	546 (9.7)	813 (14.5)
	13年度	5,009 (100.0)		628 (12.5)		68 (1.4)	2,675 (53.4)	168 (3.4)	316 (6.3)	411 (8.2)	743 (14.8)
	区分	歳出		人件費		物件費	扶助費	補助費等	普通建設事業費	公債費	その他
	11年度	6,037 (100.0)		1,271 (21.1)		623 (10.3)	295 (4.9)	476 (7.9)	1,459 (24.2)	1,012 (16.8)	901 (14.9)
	12年度	5,385 (100.0)		1,219 (22.6)		620 (11.5)	135 (2.5)	479 (8.9)	1,156 (21.5)	712 (13.2)	1,064 (19.8)
	13年度	4,818 (100.0)		1,209 (25.1)		630 (13.1)	147 (3.0)	513 (10.6)	688 (14.3)	843 (17.5)	788 (16.4)
	区分	形式収支	実質収支	標準財政規模	地方債現在高	積立金現在高	実質収支比率	財政力指数	公債費比率	起債制限比率	経常収支比率
	11年度	246	191	3,468	6,517	1,074	5.5	0.213	15.6	8.7	80.8
	12年度	220	172	3,389	6,542	1,134	5.1	0.210	14.8	7.8	81.5
	13年度	191	34	3,239	6,289	1,159	4.9	0.211	17.9	8.7	85.5
	公共施設設備状況	道路延長	道路改良率	道路舗装率	永久橋比率	上水道普及率			下水道等普及率		し尿衛生処理率
197 km		89.5%	87.3%	98.8%	99.7%			90.4%		100.0%	27.5%
公営住宅等		公園	人口一人当たり公園面積		病院	診療所	公民館	保育所	児童館	幼稚園	
24戸		11ヶ所	5.0㎡(行政区域内)		-	5ヶ所	5館	3ヶ所	1ヶ所	4園	
小学校	中学校	高等学校	高専短大	大学							
4校	1校	1校	-	-							
行事・祭等	高寺八講 花まつり 八朔まつり 松例祭 羽黒秋まつり 羽黒山音楽祭 月山高原スキーハイキング大会										
名所・旧跡等	月山 羽黒山 羽黒山杉並木 五重塔 南谷 玉川遺跡と玉川寺 えぞ館 黄金堂 松ヶ岡開墾場										
特産品・名物	庄内柿 羽黒牛 銘酒(竹の露、亀の井) 精進料理(芭蕉膳) ブルーベリー 月山筍 遠赤外線干し柿										
主要企業等	学校法人羽黒学園 羽黒のうきょう食品加工(有) 北日本羽黒食品(株)										
郷土出身者	戸川 安章(民俗学者)										
市町村振興協会 資金充当事業	広瀬幼稚園舎建設事業(H元) トレーニングの里整備事業(H2～3、5～6) 月山ハーモニーパーク建設事業(H4) 手向地区ふるさとセンター整備事業(H9)										

羽黒町政の現状と方針

1. 町の概要

本町は、山形県の北部、庄内平野の東南部に属し、総面積が 109.61 平方キロメートルであり、耕地と林野、その他の土地がほぼ 3 等分する、四季色の濃い農村地帯であります。

羽黒町の誕生は、住居跡や石器・土器などの発掘からして遠く縄文時代までさかのぼると考えられますが、記録に登場するのは羽黒山開山とされる 1400 年前頃であり、集落の姿が形成されるようになったのは鎌倉時代、その後、庄内に遷封された酒井忠勝公の統治の元に整備が進められ、今の羽黒町の原型が築かれたと思われます。

その後、明治 2 年（1,869 年）の廃藩置県、明治 8 年（1,875 年）には鶴岡県に、翌年には山形県に合併され、明治 11 年の郡治の統制、明治 22 年（1,955 年）には町村制の施行によって、手向村・泉村・広瀬村が誕生し、昭和 30 年 2 月には、3 村が合併し羽黒町が誕生し、今日に到っております。

生い立ちで特徴的と感じているところは、手向地区は出羽三山との関係での発展、多くの道者達の訪れる門前町としての歴史であり、郷土愛、自立、報恩の気質が感じられます。

泉、広瀬地区は、治水、開田、開墾、開拓の歴史であり正に農業の歴史であり、農民魂、きれいな水でおいしい米をつくる気質を持ち大事にしていると感じております。

特徴的と思われること

（1）農業の生産基盤と環境基盤の整備について

農業近代化への取り組みは、江戸時代以前からの堰の開削につづく新田開発、明治初期の松ヶ岡開墾など意欲的に行なわれ、戦後の入植開拓、昭和 30 年代からは水田の区画整理、昭和 39 年からは、国営赤川農業水利事業及び団体営「ほ場整備事業」を導入、山間部では開田も含めたほ場の整備も行い、昭和 43 年には第二次構造改善事業を導入し、着々と生産基盤の整備、経営近代化を図ってきました。

また、月山山ろくの有効利用を図る上からも、昭和 43 年からは、国営月山山ろくパイロット事業を導入し、690 ha に及ぶ広大な山地や原野の開発に手がけ、パイプかんがいの畑地や採草放牧地などの造成を行い、農業の複合経営による規模拡大に寄与してきました。

一方、生産基盤の進む中で、生活環境基盤の整備の遅れが目立ち、昭和 48 年

には全国に先駆け、農村総合整備モデル事業を導入し、昭和 51 年からは、全国初の農業集落排水事業に取り組む一方、門前町を中心に昭和 53 年からは、建設省所管の特定環境保全公共下水道事業を導入するなど、重点的に下水道の整備を図り、現在 90%の整備率となっています。

(2) 皇族が開かれた羽黒山を中心の観光地として文化財も多数

第 32 代崇峻天皇の皇子である蜂子皇子が 588 年（1415 年前）に開山された羽黒山を中心に月山、湯殿山の出羽三山の里として全国に知られています。

神仏習合の歴史が長く、難行苦行の山岳修験の山、信仰の山として今なおさまざまな伝統が守られており、多くの参拝者（道者）があり、34 戸の宿坊街に続く門前町としての参道（2,446 段の石段）の両脇には、霊気漂う国特別天然記念物の杉並木があり、緑の文明学会から昭和 61 年森林浴の森 100 選に選定されているほか、歴史を伝え風格ある国宝五重塔（藤原時代、1064 年前建立）など一帯には貴重な文化財も多くあります。

町内への観光客数の推移は、平成 5 年の出羽三山ご開山 1400 年祭の年の 258 万人をピークに減少しているが、最近アウトドアやトレッキング、温泉などが増えていると感じられます。

2 . 総合計画からの羽黒町の将来構想

基調テーマ 「歴史と文化の誇る三がいのまち羽黒」

- 生きがい・働きがい・暮しがい -

計画テーマ 「創ろう活きのいいまち羽黒」

基本目標

1 . 出羽庄内羽黒の風土を愛する快適な環境のまち

- ・羽黒山を中心とする出羽三山の自然・歴史の活用
- ・町内に点在する美しい景観を大切にした農村空間の創造
- ・景観に配慮した美しい魅力ある農村デザインづくり
- ・町民と事業者が相互に責務を果たすごみ減量活動の推進
- ・町民の生活を災害から未然に防ぐ体制の整備
- ・計画的な土地利用の推進

(進行中のプロジェクト)

- ・景観形成としての桜つつみモデル事業、花いっぱい運動
- ・全町下水道化事業

- ・ 消防施設整備事業
- ・ ごみ減量化推進事業

2. 明日へのパワーとメッセージを発信する活力と創造のまち

- ・ 足腰の強い農業をめざした基盤の整備
- ・ きれいな水と有機質肥料による安心・安全・そして食味の良い農産物づくり
- ・ 近代的な商店づくり
- ・ 町民のエネルギーが発揮できる就労環境機会の拡充
- ・ 観光の振興とイベントの開発、交流
- ・ 情報発信力の整備とネットワークづくり

(進行中の主要なプロジェクト)

- ・ 新総合計画策定
- ・ 男女共同参画社会形成
- ・ 自主的なまちづくり活動支援
- ・ 中山間地域振興事業
- ・ 幹線道路網整備事業
- ・ 情報ネットワークシステム構築
- ・ 農地基盤整備
- ・ 農業経営基盤強化促進対策
- ・ 水田農業経営確立対策事業

3. 一人ひとりの個性がひかる教育と文化のまち

- ・ 町民の手による多彩な文化・芸術の創造
- ・ 歴史・文化的資源の保全
- ・ 向上心に満ちた多彩な学習社会の構築
- ・ 豊かな人間性を営む学校教育の推進
- ・ 明日を担う羽黒っ子の育成
- ・ 国際感覚あふれる町民の育成
- ・ 出羽三山文化情報の発信

(進行中の主要なプロジェクト)

- ・ 国指定史跡松ヶ岡開墾場修復
- ・ 国宝羽黒山五重塔修復
- ・ 小・中学校教育用コンピューター

4. 瞳輝きぬくもりの伝わる健康と福祉のまち

- ・ 健康と生活を支える保険医療体制の充実
- ・ 保健予防サービスの充実

- ・ 支え合いとともに生きる地域福祉の推進
 - ・ ぬくもりの伝わる農村型福祉社会の建設
 - ・ 敬意と育みの福祉社会づくり
- (進行中の主要なプロジェクト)
- ・ 子育て支援事業
 - ・ 少子化対策
 - ・ 知的障害者福祉対策
 - ・ 介護保険給付

3 . 地域の将来ビジョン

基調テーマ

田園観光文化都市づくり (共存、共栄、共感、共生、共和、共益)

キーワード

グローバルな視点とローカルな行動
(共存、共栄、共感、共生、共和、共益)

共通のテーマ

心身のやすらぎ
交流による発展
資源活用と活性化

めざすまちづくりの目標として

安心・安全な食材を生産し活力ある田園都市づくり (農業再生)

本町は、これまで米を始めとし、庄内柿、アスパラ、ブルーベリー、肉など、立地条件を生かし、多くの農畜産物を生産してまいりましたが、最近では国内外の産地間競争の激化や担い手不足、消費者の安全・安心な食料や環境に対する意識の高まりなど、食を取り巻く情勢は大きく変化しています。

こうした中、将来をみつめて農業の振興をはかっていくためには、豊かな自然や田園環境を活かした、新鮮で安全な食材の提供をはかり、生産者が将来に夢と希望を持ち、自立できることが重要です。

これらの目指す方向としては、

- ・ 消費者の安全、安心、新鮮な食料に対するニーズに応えるため、生産者の顔が見える活動や流通組織、販売活動の構築
- ・ 高品質堆肥製造供給施設の有効利用・バイオマス活用による土づくり
- ・ 低農薬栽培の推進等エコファーマーとしての生産者の意識改革

が大事であり、具体的には

- ・農地を利用したバイオマスの研究実験ほ場の設置
- ・コスト低減のため大区画ほ場整備
- ・水田畑地化等生産基盤の整備による農地の利用集積や水田の汎用化
- ・観光面とタイアップしての体験農業の推進や月山高原のブランド化
- ・特産品の開発、高付加価値化などの起業に対する支援による雇用の拡大

以上により、自立できる農業の実現、農村生活文化の研究による地産地消、伝統の地場産業の復興も進め活力ある田園都市づくりをめざします。

遊学、創造し発見、ぬくもりある観光都市づくり（交流発展）

本町には、山岳信仰・修験霊場として高名な出羽三山をはじめ、豊かな自然や数多くの文化遺産などの資源があり、年間百数十万人の観光客や参拝客が訪れる出羽三山の門前町として古来より繁栄してきました。

しかし、近年の長引く景気の低迷や、観光の形態と嗜好の変化により、これまで培ってきた観光のあり方も大きな転換期を迎えていると思われます。

このため、新たな誘客、リピータ確保するには、体験・滞在・通年観光で交流人口の増加による交流人口の発掘、出羽三山を拠点にした広域周遊観光の必要性、国際観光を目指すことが求められます。

その振興策としては、今ある資源の有効活用策、心身が癒されるホスピタリティ（もてなしの心）の向上、ネットワークの構築、人材の育成、グリーンツーリズムの推進など戦略的な宣伝活動などが大切であると考えます。

具体的には

- ・広域での関係強化のための道路整備
- ・自然環境の保全を重視し、心やすらぐ景観形成をはかるための景観条例の制定
- ・景観整備計画に基づく観光シーズンの混雑解消のため駐車場やトイレの整備
- ・統一したサイン計画による案内板や標識
- ・シンボルロード、桜並木通り、街路灯の整備
- ・各地に有する温泉施設の共通券の発行や個性ある整備
- ・庄内に長く滞在できる形でのグリーンツーリズム
- ・たのしく学び癒されるリカレント教育への対応
- ・国際観光などに対応した交流発展のためのセンター

以上により、通過型の観光から、体験型・滞在型・通年型の観光などにより交流人口の増加をめざします。

また、国際観光都市をめざすには、よりローカルな資源としての手向宿坊街

の門前町整備や、貴重な文化財を保全活用し独自の出羽三山文化を取り入れた修行体験、さらには精進料理や特徴ある中山間農業との提携による食文化の創出など、日本文化を継承発展させなければなりません。

そして、ぬくもりのある地域に安心して長期滞在できる施設整備、人材、受入れ態勢や環境なども整え、国際化に備え21世紀を担う総合産業として発展させようと考えます。

伝統歴史を保全継承し誇りある文化都市づくり（文化継承）

本町には磐梯朝日国立公園出羽三山地域の壮大なる自然遺産と、古来から山岳信仰に関わる文化遺産が数多くあり、これら遺産を大切に保存、整備し後世に伝えていくことが重要です。

特に、国立公園でもある出羽三山地域は、世界遺産登録も可能との提言もあり、この事もぜひ、視野に入れたいと考えています。本町には磐梯朝日国立公園出羽三山地域の壮大なる自然遺産と、古来からの山岳信仰に関わる文化遺産が数多くあり、これら遺産を大切に保存、整備し後世に伝えていくことが重要です。

これらを含め、世界も視野に入れながら、いでは文化記念館を拠点に、地域の人たちとも協調し出羽三山の自然と文化のさらなる研究検討に努めるとともに、山岳修験文化や伝統、歴史を保全再興、継承し守り伝えるため、心の醸成、公益活動としての市民総ガイドなどを養成しながら、他に誇れる個性ある文化都市づくりをめざします。

自然と共生し環境にやさしい循環型社会づくり（環境保全）

二十世紀の大量生産、大量消費型の社会が地球規模の環境問題になっていると思うとき、21世紀に住む私たちには、この豊かな自然環境をより良いものとして再生し、次の世代に引き継ぐ責任があります。

そのためには、行政のみならず住民・事業者も一体となったゴミの減量や再利用などを推進し、その思想が定着した社会システムづくりが必要です。

それは商・工業分野だけの課題ではなく、農業においても、有機農業などによる生産者と消費者がパートナーとなつての土づくりの推進や、農産物のバイオマスなどにより高付加価値化、再利用をはかるなど、社会全体が発生抑制（リデュース）、再利用（リユース）、再生利用（リサイクル）の「3R」を推進し、大量消費・大量廃棄の生活スタイルからの脱却をめざします。

自然との共生の面では、心安らぐ農村の原風景、里山、小川、鎮守の森、小路、生垣などの景観も保全しながら、さらに活用として、保養やUターン者用

住宅の造成分譲、克雪・親雪なども考慮し、環境にやさしい循環型社会づくりをめざします。

ともに心身健やかに過ごせる農村福祉型社会づくり（保健福祉）

都市化の進展等に伴い相互支援の精神が失われていくことが懸念されるなか、少子高齢社会は、すべての住民が支え合い共に生きる共生の視点を基本に、子供、高齢者、障害者にやさしい環境整備や福祉教育の充実など、様々な分野において当事者意識をもって取り組むことが必要となっています。

このため、保健・医療・福祉の連携をはかり、きめ細かなサービスを提供していくことはもとより、まちづくりのあらゆる分野で助け合い、支え合い、励ましあいながら生きることができる思いやりのある地域風土、自立を育むことが重要です。

現在、山伏温泉「ゆぽか」の隣に、民間によるデイサービスセンターを併設した老人保健施設の建設が計画されております。町内はもとより、南庄内圏域の待機者や介護する家族の要望にこたえるとともに、既存の保育園、知的障害者授産施設、知的障害者更生施設、特別養護老人施設との協調、広域で医療機関とも連携し、心身ともに健やかに過ごせる農村福祉型社会づくりをめざします。

家庭・地域の絆、たくましく夢育み型社会づくり

（生涯学習・地域コミュニティ再構築）

戦後の目覚ましい繁栄は、生産優先、物質経済、開発主導であり、反面、失ったもの、形骸化し忘れられつつあるものなど多く地域社会の回復に向け反省し、転換が求められています。

これらは、家庭や地域にも影響し、かつての家庭愛、隣人愛などの絆が弱まり少子高齢社会とも重なり、子供社会や教育面・共同社会にも様々な弊害が表れております。

社会の基盤である家庭には、多くの兄弟姉妹おり三世帯が同居する良さや地域の子供が明るくたくましく、老若男女が笑顔で生き生きと学び夢を育み生活できる社会が普遍化なることが求められています。

そのための地域コミュニティの再構築、生涯学習などの教育環境や施設整備、公民館活動の充実、公共施設のリフレッシュによる機能強化、携帯電話不感地帯解消なども含めた情報ネットワークシステム構築などにより家庭・地域の絆を深め、たくましく夢育み実現可能な社会づくりをめざします。

主要プロジェクト

- ・ 自然環境保全整備回復（山岳トイレ整備、登山道整備）
- ・ 景観形成事業（サイン計画、門前町整備）
- ・ 出羽文化観光研究（世界遺産、資源発掘活用）
- ・ 観光施設整備（国際交流サロン、案内板、街路灯）
- ・ 環境保全型農業構築（高付加価値化、土づくり）
- ・ 中山間地域振興（月山高原活用）
- ・ 農村生活文化研究（開墾開拓、食文化）
- ・ 水資源確保
- ・ 情報ネットワークシステム構築（携帯電話不感地帯解消）
- ・ 道路網整備（羽黒山バイパス、羽黒橋拡幅、細谷・荒俣地区県営農道、スーパー農道路路面補修）
- ・ 克雪対策（防雪柵）
- ・ 全町下水道化
- ・ 「ゆぽか」周辺開発（老人保健施設、心身保養施設）
- ・ 公共施設リフレッシュ（コミセン）
- ・ 健康づくり・生活環境整備
- ・ 教育施設・環境整備（中学校校舎）
- ・ 生涯スポーツ推進
- ・ 生涯学習環境整備
- ・ 地域コミュニティ再構築（自主自立を目指す活動）

4. 地域の特性、活用すべき資源など

特 性

- ・ 山岳、山ろく、平野部を有する
- ・ 山間山ろくが広い（森林地、畑地、牧草地）
- ・ 自然資源が多い
 - 農林水畜産物などの品目が多く生産される（素材が豊富）
- ・ 山岳（月山）、山ろく（羽黒山）の一部は（出羽三山地区）は磐梯朝日国立公園地域にある
- ・ 出羽三山（羽黒山、月山、湯殿山）は開山 1400 年有余の歴史を誇る
- ・ 自然歴史文化遺産が多い

活用すべき資源

- ・ 埋もれ活用されてない資源
 - 農村景観、旧月山登山道、南谷、湧水清水、酒、荒沢寺、河川、東北

- 振興研修所（倫理、論語）
- ・ 拡大充実し活用したい資源
精進料理、月山高原、庄内柿、温泉、花、宿坊（門前町） 出羽三山溝、
羽黒高校、休暇村羽黒、県森林研究センター育種部、堆肥センター、
松ヶ岡開墾場（記念館、農具館） 祭り（花祭り、八朔祭、松例祭）
今井美術館

5. 新市の町づくりに対する期待、役割

合併後の町づくりにおける期待

（1）地域イメージの向上

- ・ 資源が豊富（海、山、谷、川、平野、山伏、高僧、都市、農村、山村、
漁村、大地）
- ・ 風格が備わる
- ・ 誘客効果
- ・ ブランドの確立

（2）ビッグプロジェクトへの対応

- ・ 高速交通網整備（日本海沿岸東北自動車道、羽越新幹線）
- ・ 産業振興（企業誘致、人材招聘、雇用確保、地域経済安定、農地の適
正あっせん）
- ・ 行政サービス向上
- ・ 最小の経費で最大の効果発揮（経費節減）
- ・ 施設の利活用推進
- ・ 専門技術、高度化などへの対応
- ・ 地域自治の成熟度が増す（切磋琢磨）

（3）グローバルな考えで、ローカルな活動を

- ・ コミュニティーの確立
- ・ 地域の自主自立推進
- ・ まちづくりに対する役割

（4）産業振興（農業再生）面で米を補完しての複合部門拡大の役割

- ・ 中山間地を活かした（月山高原、畑団地、景観、広葉林植樹）
- ・ 産物を活かした（アスパラガス、長いも、ブルーベリー、山菜、岩魚、
肉、温泉、ジンギスカン、精進料理）
- ・ 起業創出、雇用創出（第六次産業）

（5）教育学習面での役割

- ・ 児童福祉施設を活かした子育て
- ・ 幼小一貫体制を活かした子育て

- ・各種施設を活かした学舎（リカレント的、修養）
- (6) 広域観光（国際観光）面での拠点の役割
- ・出羽三山を活かした
 - ・自然歴史文化遺産を活かした
 - ・食文化を活かした

羽黒町



平成15年1月20日

羽黒町

本日本話すること

- 羽黒町の概要
- 総合計画
- 地域の将来ビジョン
- 地域の特性と資源
- 新市に対する期待と役割



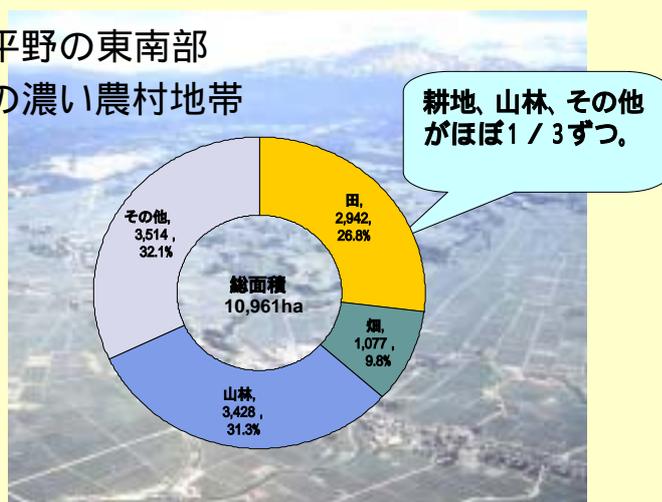


羽黒町の概要・・・地勢



四季の濃い農村地帯

- 庄内平野の東南部
- 四季の濃い農村地帯



羽黒町の概要・・・生い立ち 1

縄文の歴史

- 縄文時代に定住始まる。
- 崇峻元年（ 588） 出羽三山開基
- 明治22年（1889） 3村誕生



手向村



泉村



広瀬村

羽黒町の概要・・・生い立ち 2

昭和の大合併

- 昭和30年（1955） 3村合併し羽黒町誕生



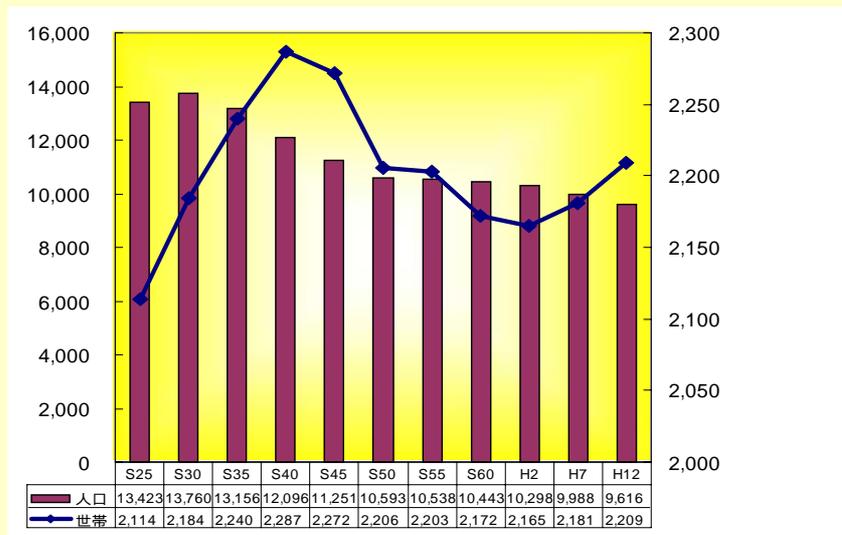
羽黒町の概要・・・町民気質

観光と農業の町の原点を発見！



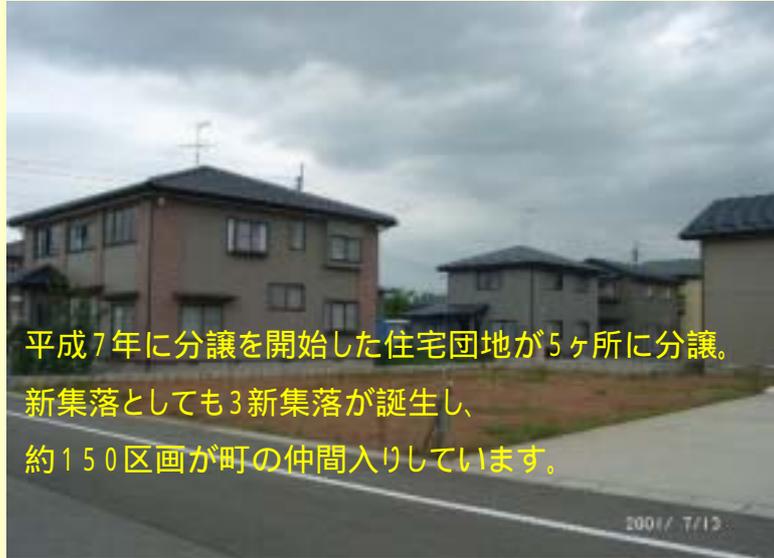
羽黒町の概要・・・人口1

人口は減少傾向



羽黒町の概要・・・人口 2

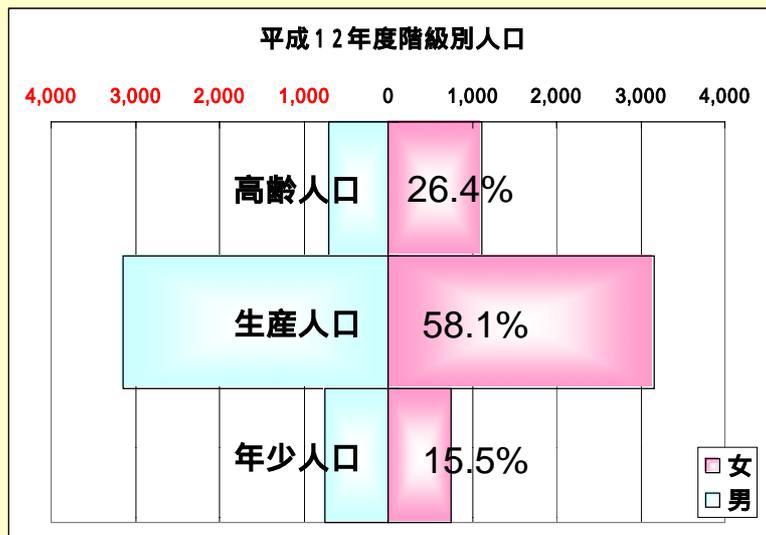
開けゆく住宅団地



平成7年に分譲を開始した住宅団地が5ヶ所に分譲。
新集落としても3新集落が誕生し、
約150区画が町の仲間入りしています。

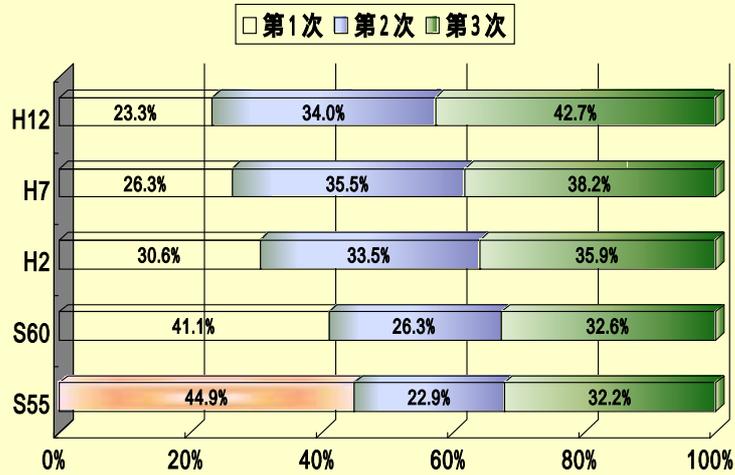
羽黒町の概要・・・人口 2

少子高齢の傾向



羽黒町の概要・・・人口3

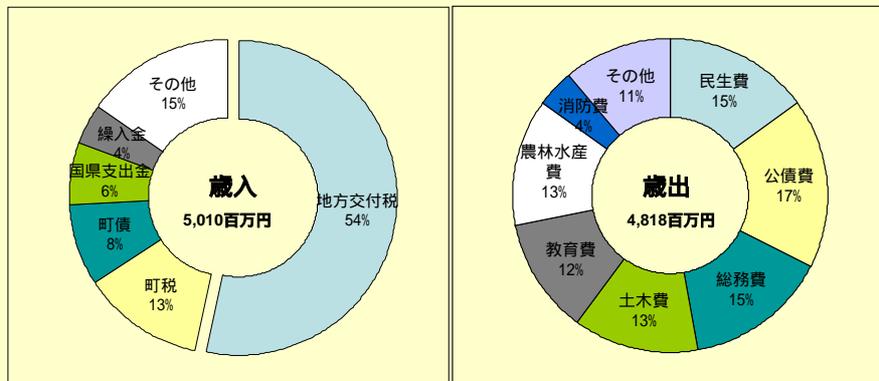
産業別就業人口



羽黒町の概要・・・財政

財政状況

平成13年度決算より



羽黒町の概要・・・シンボル

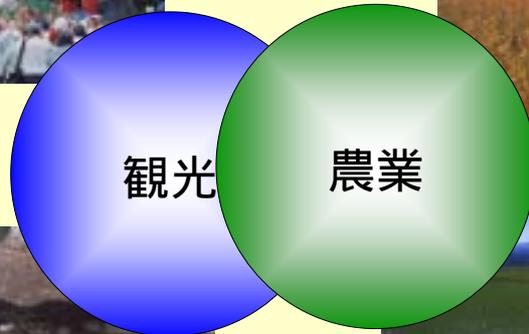
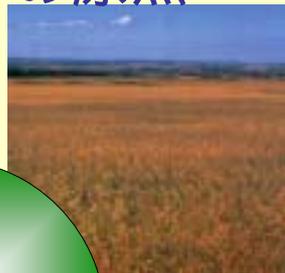
町のシンボル

- 木 杉
- 果物 庄内柿
- 花 ミズバショウ
- 鳥 キジ
- 動物 牛



羽黒町の概要・・・町の原点

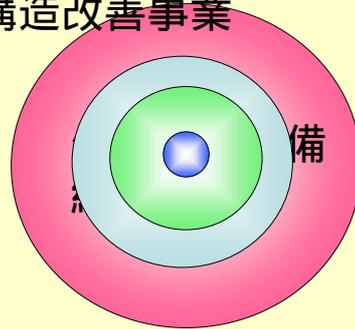
農業と観光が町づくりの原点



羽黒町の概要・・・農業史 1

農業の生産基盤

- 江戸時代 : 堰の開削、新田開発
- 明治～戦後 : 開墾、開拓
- S30代 : 区画整理、圃場整備等
- S43 : 第二次構造改善事業



羽黒町の概要・・・農業史 2

先人の結晶、月山麓

690ha

S43～ 国営 月山山ろくパイロット事業



複合経営

規模拡大

羽黒町の概要・・・環境整備 1

全国屈指の下水道整備率

- 昭和48年 農村総合整備モデル事業
- 昭和51年 農業集落排水事業
- 昭和53年 特環下水道事業

全国初

91%

羽黒町の概要・・・環境整備 2

川で遊ぼう！



羽黒町の概要・・・観光 1

皇族が開基した出羽三山

- 崇峻元年(588) 出羽三山開基
- 34戸の宿坊街が連なる。



羽黒町の概要・・・観光 2

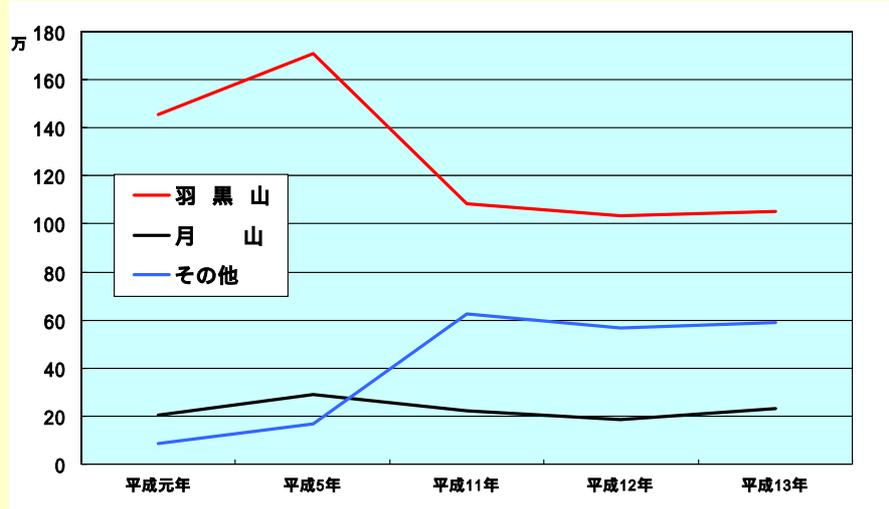
偉大なる出羽三山

- 悠久の信仰が息づく神秘と歴史の体感エリア
- 出羽三山地域は歴史、文化、自然ともに貴重



羽黒町の概要・・・観光3

観光客の推移



羽黒町の概要・・・観光5

羽黒町は文化財の宝庫

平成14年5月現在

	国	県	町	計
建造物	3		1	4
工芸品	3	2	13	18
彫刻		4	18	22
絵画			4	4
書跡書籍		2	10	12
考古資料	1	7	20	28
史跡	1	2	2	5
名勝	1			1
天然記念物	4		1	5
無形民俗文化財		1		1
有形民俗文化財	1		1	2
その他			1	1
計	14	18	71	103

羽黒町の概要・・・観光 6

代表的な文化財



羽黒山五重塔
承平年間(930?) 平将門の創建
県内に4つしかない国宝の一つ



羽黒山鐘楼堂
元和4年(1618)
重文

羽黒町の概要・・・観光 7

代表的な文化財



松ヶ岡開墾場
明治 2年 225haの開墾
平成 元年 国指定史跡



羽黒山南谷
昭和30年 県指定史跡

羽黒町の概要・・・観光 8

代表的な文化財



玉川寺庭園

建長 3年 了然法明禅師の開山
昭和62年 国指定名勝の指定



羽黒山爺杉

樹齡1,000年の巨木
昭和26年 国天然記念物

羽黒町の概要・・・観光 9

代表的な文化財



正善院
吽形像



正善院黄金堂
昭和25年 国重文



正善院
阿形像

芭蕉ゆかりの地

語られぬ湯殿にぬらす袂かな

雲の峯幾つ崩れて月の山

有りがたや雪をかほらす南谷

涼しさやほの三か月の羽黒山



元禄二年（一六八九）
松尾芭蕉が訪山。六日間滞在。
出羽三山は**紀行中最大の転機**を与えた。

かおり風景100選 南谷

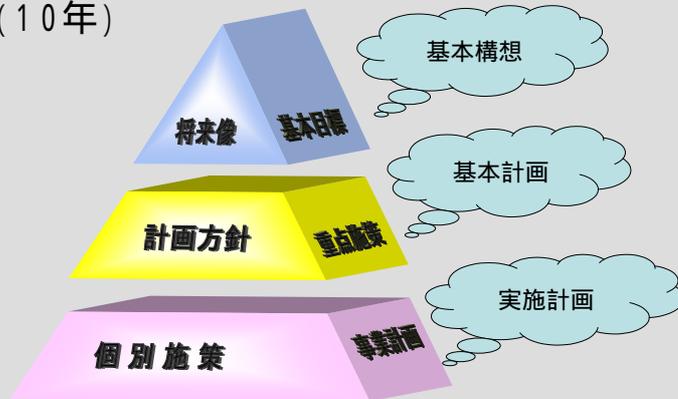
平成13年、環境省の「かおり風景100選」に選定
芭蕉も愛し宿泊を重ねた地、その名は南谷





羽黒町第一次総合計画

- 策定:平成5年度
- 期間:平成6～15年度
(10年)



「三がい」とは

- 基調テーマ
- 歴史と文化を誇る三がいのまち 羽黒
＜生きがい、働きがい、暮らしがい＞



基本目標

基本テーマ

創ろう
活きのいいまち
羽黒



基本目標

1. 快適環境のまち
2. 活力と創造のまち
3. 教育と文化のまち
4. 健康と福祉のまち

総合計画

快適な環境のまち

出羽庄内羽黒の風土を愛する

「快適な環境のまち」

大綱

1. 自然・歴史の保存と活用
2. 景観を大切にしたい美しい農村空間の創造
3. 環境保全・ごみ減量活動の推進
4. 災害を未然に防ぐ体制の整備
5. 計画的土地利用の推進



主要プロジェクト

- ・鶴岡羽黒線バイパス建設、庄内自転車道整備事業
- ・土地利用計画整備事業
- ・温泉施設、住宅団地、工業団地、スポーツ施設等整備事業
- ・出羽三山表参道整備事業
- ・羽黒町中山間交通網整備事業
- ・ビッグイベント推進事業
- ・景観形成事業
- ・サービスセンター整備事業

総合計画

活力と創造のまち

環境の明日へのパワーとメッセージを発信する

「活力と創造のまち」

大綱

1. 足腰の強い農業基盤の整備
2. きれいな水と有機質肥料による安心・安全・食味の良い農産物
3. 近代的な商店街づくりの推進
4. 町民のエネルギーが発揮できる就労環境・機会の整備
5. 観光の振興とイベントの開発、交流の全国発信
6. 情報発信力の整備とネットワークづくりの推進



主要プロジェクト

1. 中山間地域振興事業
2. 新総合計画策定
3. 男女共同参画社会形成
4. 自主的なまちづくり活動支援
5. 幹線道路網整備事業
6. 情報ネットワークシステム構築
7. 農地基盤整備
8. 農業経営基盤強化促進対策
9. 水田農業経営確立対策事業

教育と文化のまち

一人ひとりの個性がひかる
「教育と文化のまち」

大綱

1. 町民の手による多彩な文化・芸術の創造
2. 歴史・文化的資源の保全
3. 向上心に満ちた多彩な学習社会の構築
4. 豊かな人間性を営む学校教育の推進
5. 明日を担う羽黒っ子の育成
6. 国際感覚あふれる町民の育成
7. 出羽三山文化情報の発信



主要プロジェクト

1. 国指定史跡松ヶ岡開墾場修復
2. 国宝羽黒山五重塔修復
3. 小・中学校教育用PC整備

健康と福祉のまち

瞳輝きぬくもりの伝わる
「健康と福祉のまち」

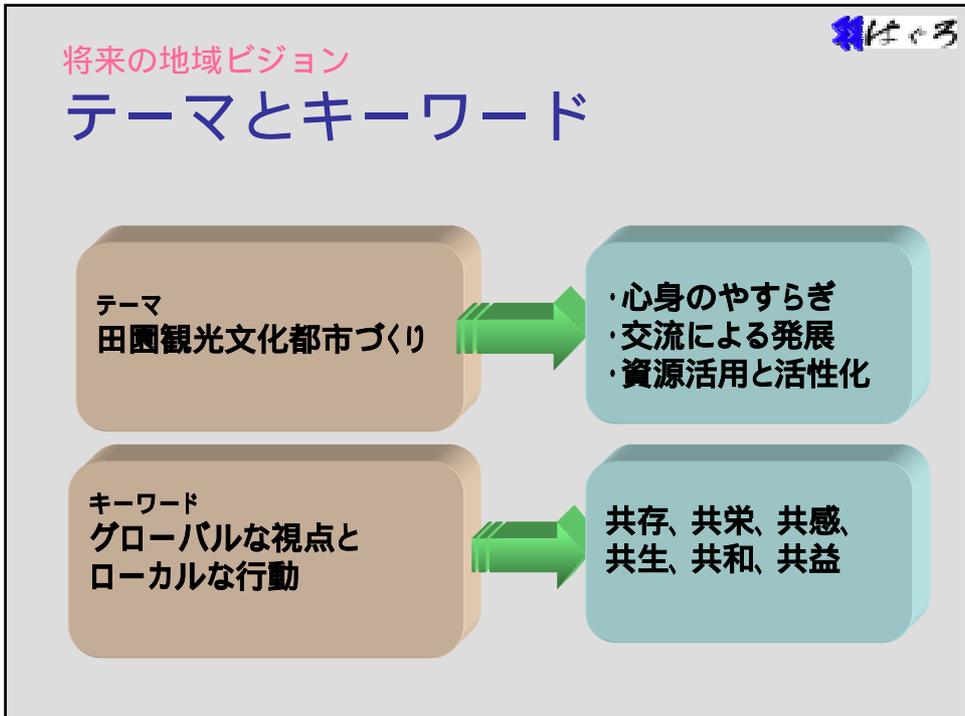
大綱

1. 健康と生活を支える保険医療体制の充実
2. 保健予防サービスの充実
3. 支え合いともに生きる地域福祉の推進
4. ぬくもりの伝わる農村型福祉社会の建設
5. 敬意と育みの福祉社会づくり



主要プロジェクト

1. 子育て支援事業
2. 少子化対策
3. 知的障害者福祉対策
4. 介護保険給付



将来の地域ビジョン

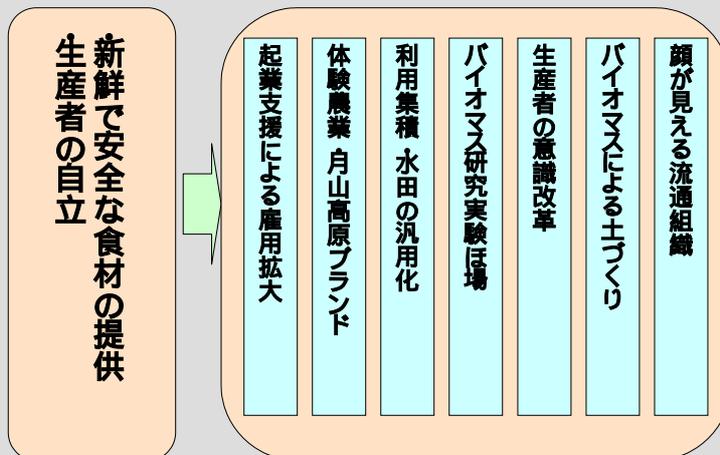
目指す方向性



将来の地域ビジョン

農業再生 1

- ・ 安心、安全な食材を生産し活力ある田園都市づくり



将来の地域ビジョン

農業再生 2

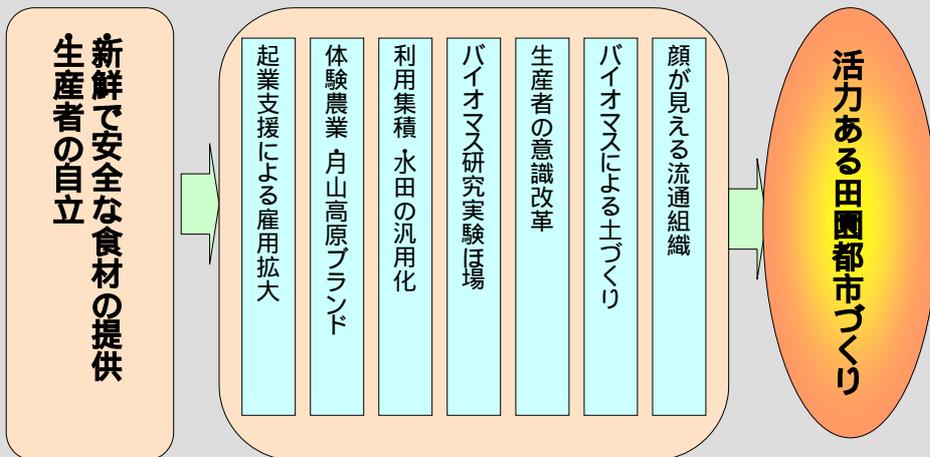


たい肥センターの有効利用
体験農業とのタイアップ
月山高原のブランド化

将来の地域ビジョン

農業再生 3

- 安心、安全な食材を生産し活力ある田園都市づくり



将来の地域ビジョン

交流発展 1

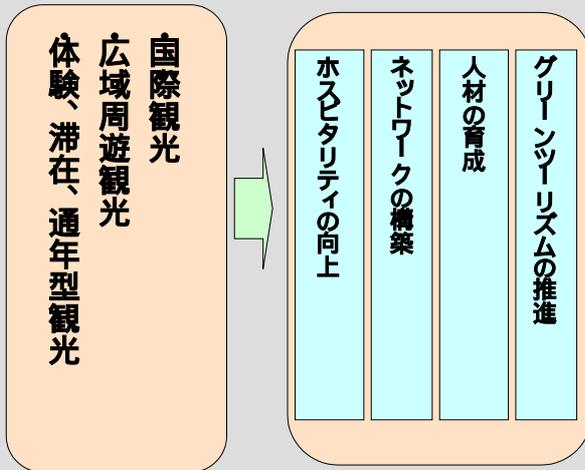


羽黒山石段マラソン全国大会

将来の地域ビジョン

交流発展 2

遊学、創造し発見、ぬくもりある観光都市づくり



将来の地域ビジョン

交流発展 3



出羽三山は、国際的にも高名である。



友好町村：東京都新島村

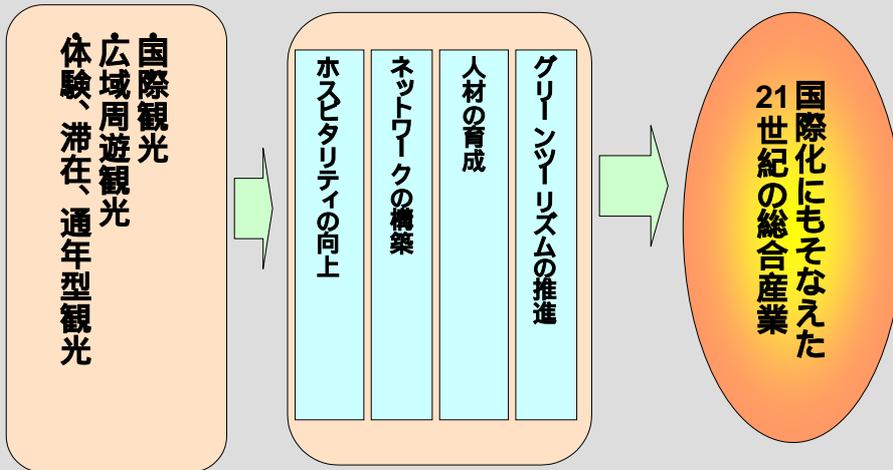
S59盟約以来、年々交流が深まる。

出羽三山を有効に使えば、通年体験観光も可能である。

将来の地域ビジョン

交流発展 4

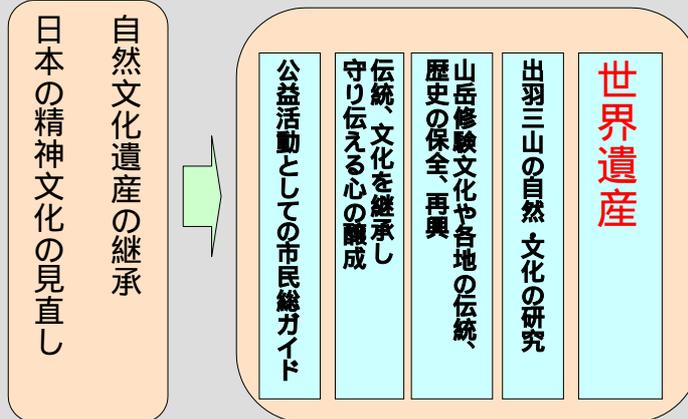
遊学、創造し発見、ぬくもりある観光都市づくり



将来の地域ビジョン

文化継承 1

- 伝統歴史を保全継承し誇りある文化都市づくり



将来の地域ビジョン

文化継承 2

「千と千尋の神隠し」
グランプリを得たの
は日本縄文時代末
の精神を描いたのが
絶賛されたから、出
羽三山には、これが
可能だ。

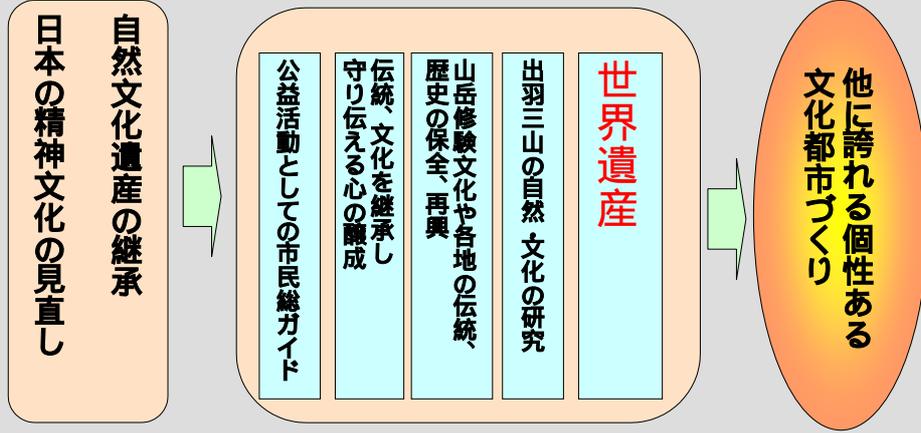


旧参道復元のボランティアには、のべ400名もの
ご参加を頂きました。
出羽三山の魅力のなせるものでしょうか。

将来の地域ビジョン

文化継承 3

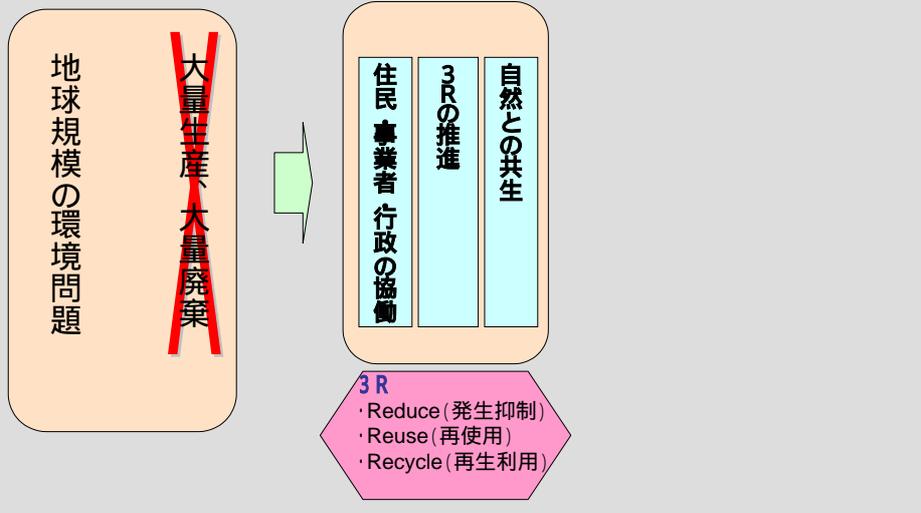
- 伝統歴史を保全継承し誇りある文化都市づくり

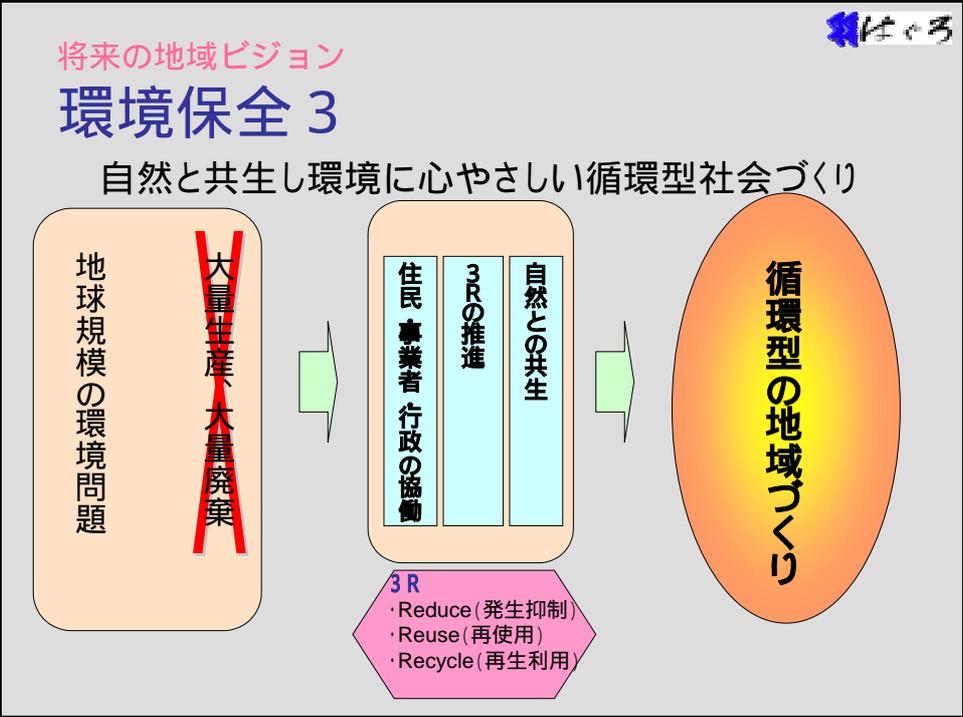


将来の地域ビジョン

環境保全 1

自然と共生し環境にやさしい循環型社会づくり





将来の地域ビジョン

保健福祉 1

ともに心身健やかに過ごせる農村型福祉社会づくり

支え合い共に生きる…共生
環境整備や福祉教育の充実



保健医療福祉の連携

きめ細かなサービスの提供

思いやりのある地域風土と自立の醸成

老人保健施設の建設

将来の地域ビジョン

保健福祉 2

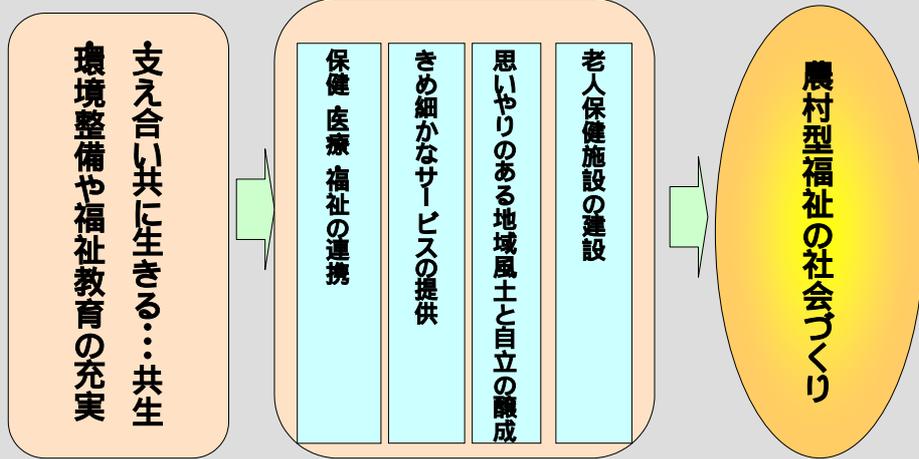


羽黒に建設が計画されている老人保健施設には、南庄内の期待も大である。

将来の地域ビジョン

保健福祉 3

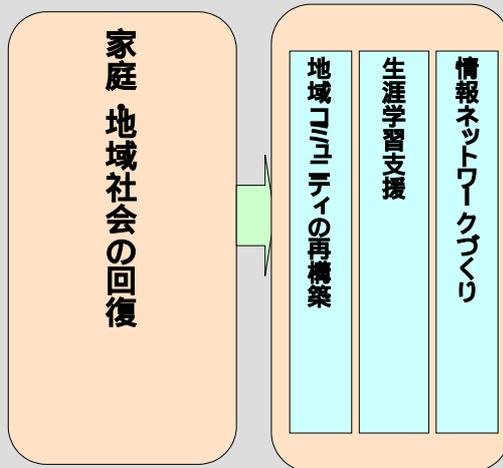
ともに心身健やかに過ごせる農村型福祉社会づくり



将来の地域ビジョン

生涯学習・地域コミュニティ再構築 1

家庭・地域の絆、たくましく夢育み型社会づくり



将来の地域ビジョン

羽黒町の代表的なコミュニティ施設

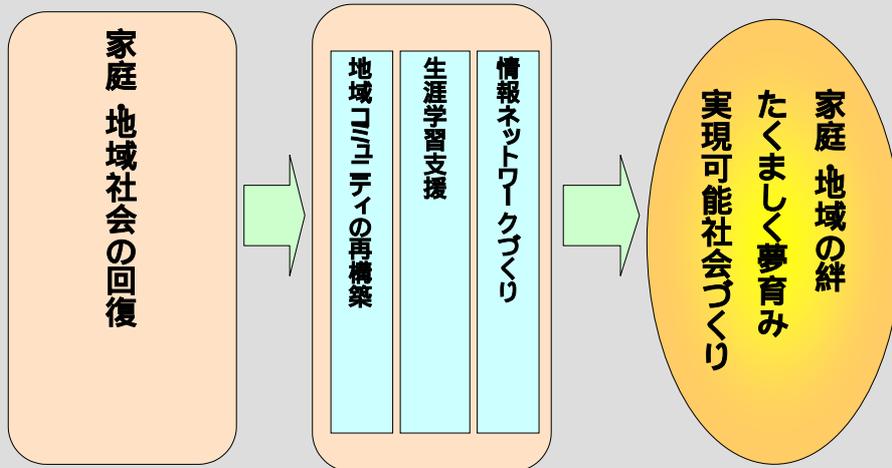


月山ビジターセンター	いでは文化記念館	創造の森交流館
環境庁設立、町が運営管理。 自然とふれあいを手助ける。	羽黒町の観光拠点。 出羽三山の歴史、文化を紹介。	地域交流の場。 E.バードも絶賛したアルカディアの地に立つ。

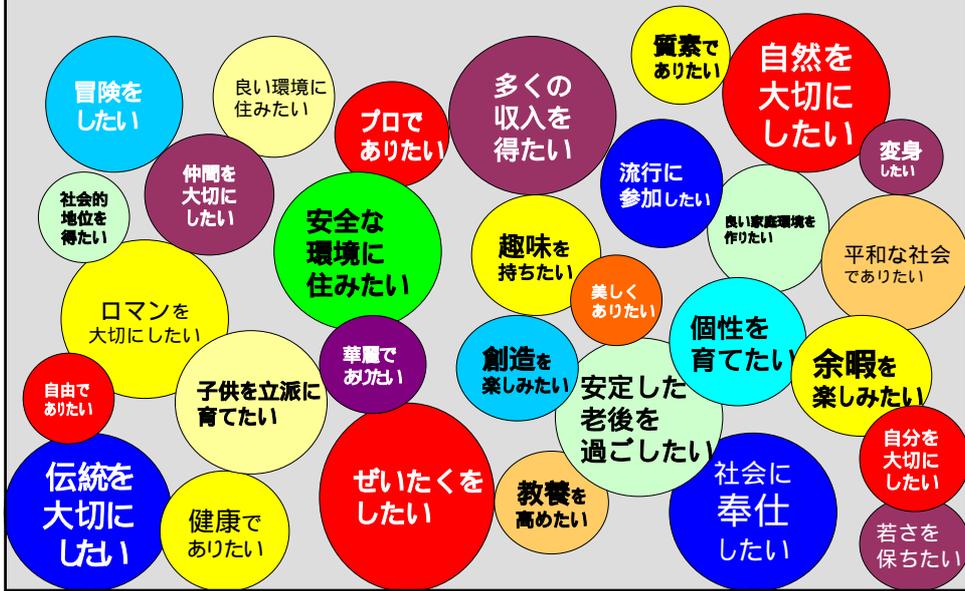
将来の地域ビジョン

生涯学習・地域コミュニティ再構築 3

家庭・地域の絆、たくましく夢育み型社会づくり



膨らむ夢



活用すべき地域資源

月山旧登拝道



月山は出羽三山の主峰であり、
南庄内の象徴である。

活用すべき地域資源

荒沢寺



神仏混淆時代は、羽黒修験の総本寺。
数々の文化財を有する。

活用すべき地域資源

出羽三山の例大祭

- 全国的にも貴重な行事
- 神秘的かつ荘厳、羽黒派古修験道を現代に伝える



日程	例大祭名	日程	例大祭名
1月1日	歳旦祭 / 羽黒山頂合祭殿	8月26日	羽黒派古修験道秋の峰入修行(~9/1)
5月8日	祈年祭(お田植祭) / 羽黒山頂合祭殿	8月31日	峰子神社祭(八朔祭) / 羽黒山峰子神社
6月1日	湯殿山本宮開山祭 / 湯殿山神社本宮	9月1日	田面祭 / 羽黒山
7月1日	月山本宮開山祭 / 月山神社本宮	10月15日	出羽三山神社崇敬講社祭 / 羽黒山
7月15日	花祭り / 羽黒山	10月24日	天宵社祭 / 羽黒山天宵社
8月13日	月山神社本宮栄燈祭 / 月山神社本宮	11月23日	新嘗祭 / 羽黒山頂合祭殿
8月14日	月山神社本宮祭 / 月山神社本宮	12月31日	松例祭 / 羽黒山
8月15日	湯殿山神社本宮祭 / 湯殿山神社本宮		

活用すべき地域資源

精進料理



出羽三山齋館で供される

芭蕉膳

活用すべき地域資源

羽黒高校

昭和38年、名誉町民秋元正雄先生が創設
産学一体を理念
最先端設備のIT講習、外国人教師による英会話教室など、
積極的に学校開放を行う。



活用すべき地域資源

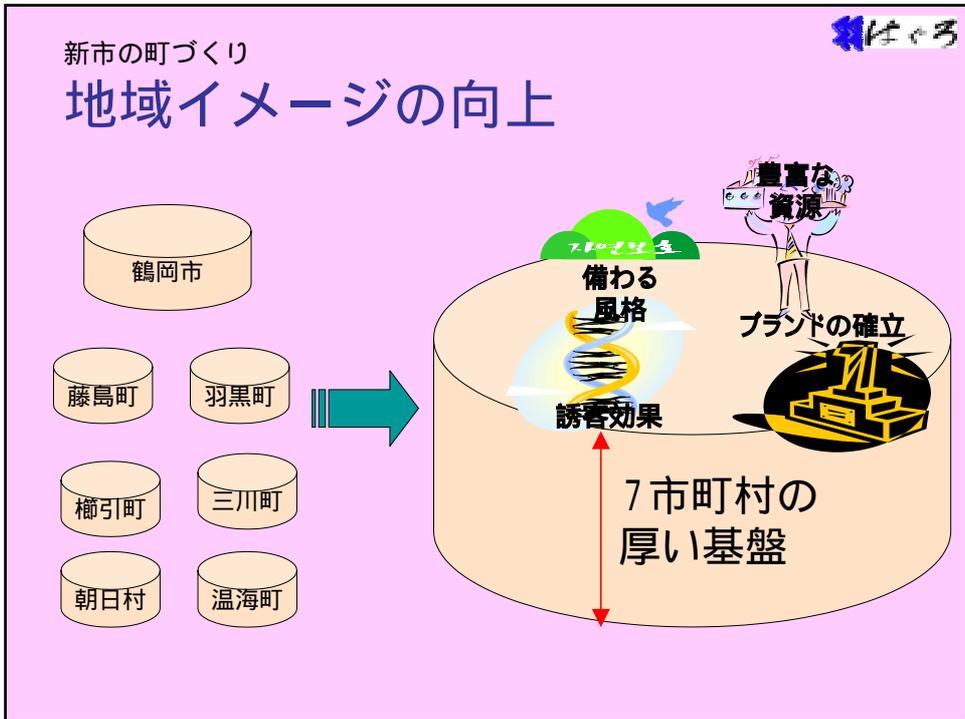
休暇村はぐろ

国民休暇村

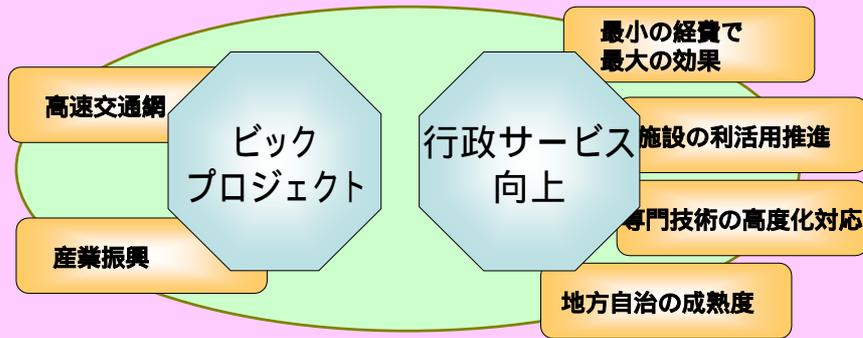
昭和50年 全国26ヶ所目(東北では5番目)として オープン

休暇村の条件: 日本を代表する風光明媚な国立公園又は
国定公園内の設置



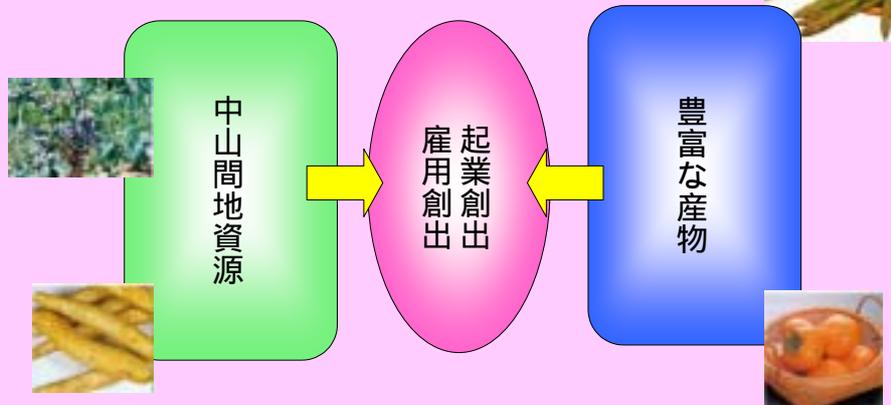


行政サービスの向上, ビックプロジェクト



産業振興

- 産業振興(農業再生)面で米を補完しての複合門部門拡大の役割





羽黒町

終